

調乳室

衛生管理のチェックポイント

手指の触れる部分は汚れています。掃除しましょう。

哺乳びん保管庫
UVランプの使用期限は？
温度管理は適切ですか？

消毒用アルコールを使用しましょう。

ペーパータオルを使用しましょう。

近くにおむつバケツ等を置いていませんか？

飲料水の遊離残留塩素濃度は規定どおりですか？
毎日測定していますか？

ふきん、台ふきなどを掛けていませんか？



1.調乳前には衛生的な手洗いをしましょう。



2.器具・設備の衛生管理について

1.哺乳瓶保管庫を使用している場合

- UVランプには寿命(約1000時間)があります。ランプが点灯していても効果は薄れてきます。定期的に交換しましょう。
- 器具が重なって陰になっている部分は殺菌されません。置き方を工夫しましょう。

2.ポットの押ボタン、手洗い洗剤ポンプの押す部分は汚れやすいので定期的なきれいにしましょう。

3.おむつバケツ等が付近にあると汚染源になります。ふだんから調乳以外のものを置かないようにしましょう。

3.使用水について

- 遊離残留塩素0.1mg/L以上であること
※給湯水も0.1mg/L以上あること
- 外観、臭気、味等に異常がないか
これらを毎日確認し、記録します。
(日常点検記録の保管は3年間)

4.調乳室で使用できる消毒剤について

- 消毒用エタノール(食品添加物アルコール製剤)
エタノール濃度 67.9w/w%(75v/w%)程度あるもの



給食室で使用しているものが望ましいです。

- 次亜塩素酸ナトリウム製剤(ミルトン、ピューラックスSなど)

希釈濃度は適切か
保管は正しいか } 確認!

ペットボトルなどの
食品容器には入れない!



* 弱酸性水(酸性水、除菌水など)は
殺菌効果が不確実なため、使用しないようにしましょう。

